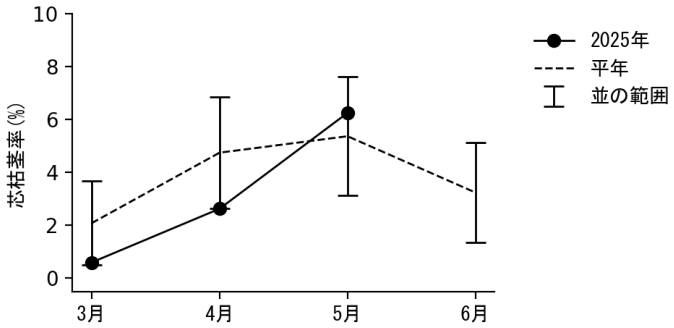
令和　7 年度　　6 月予報

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類（カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ）			
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並		
予報	5 月からの増減傾向	↘		
	6 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

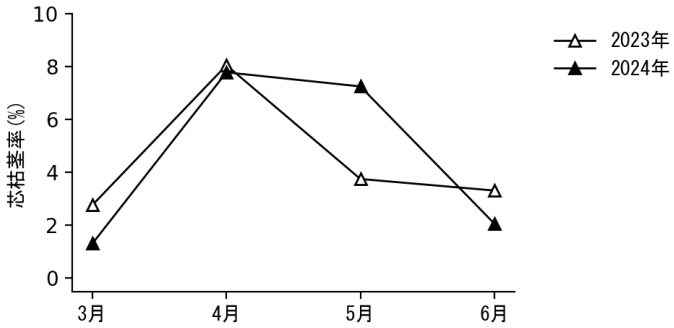
調査結果

芯枯茎率の推移（株出し）

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：カンシャシンクイハマキ（95%）、イネヨトウ（5%）

・発生ほ場率93.8%（平年：95.8%）

防除のポイント

・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。

・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。

・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。

・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

・茎葉への乳剤等の散布は、葉鞘と茎のすき間に十分な薬液が入るように丁寧に行う。

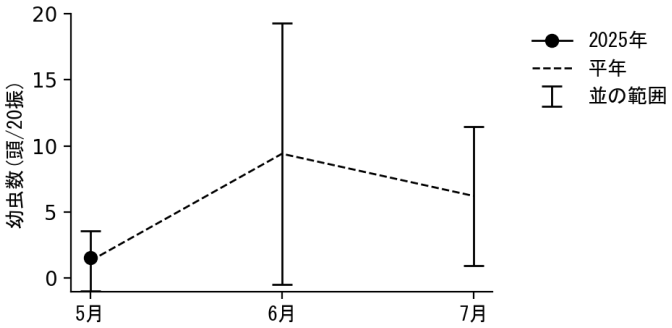
令和　7 年度　　6 月予報

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	② バッタ類		タイワンツチイナゴ	
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並		
予報	5 月からの増減傾向	↗		
	6 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

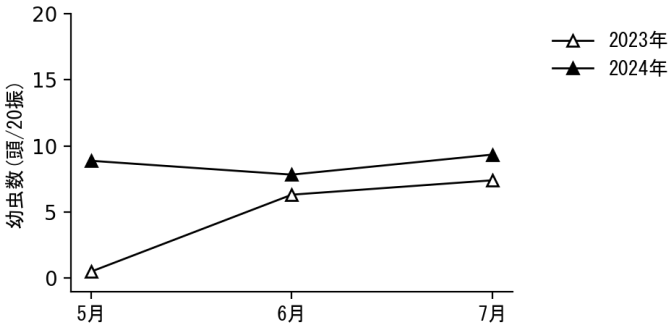
調査結果

幼虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：タイワンツチイナゴ

・発生ほ場率87.5%（平年：38.3%）

防除のポイント

・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。

・幼虫期の防除が効果的なので、6月にほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。